

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56—55061

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
E 02 F 3/81

識別記号

庁内整理番号  
6858—2D

⑬ 公開 昭和56年(1981)5月13日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ バケツト装置

⑯ 実 願 昭54—136793

⑰ 出 願 昭54(1979)10月4日

⑱ 考 案 者 瀬井将公

平塚市高村203

⑲ 出 願 人 株式会社小松製作所

東京都港区赤坂2丁目3番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 米原正章 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

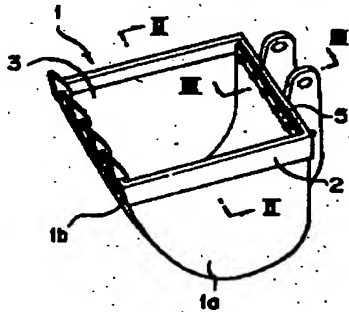
両側板1aと、該両側板1aの円弧部に沿って固着した底板1b及びこれら側板1a及び底板1bの開口部に沿って固着した厚肉の枠体2によりバケツト本体1を形成し、かつ上記枠体2の内側に段部4を形成すると共に、これら段部4に上記バケツト本体1の両側板1a及び底板1bの内面に沿って設けた非粘着性樹脂板3の縁部を突き合せて、枠体2の内面と非粘着性樹脂板3の内面をほぼ同一平面としてなるバケツト装置。

図面の簡単な説明

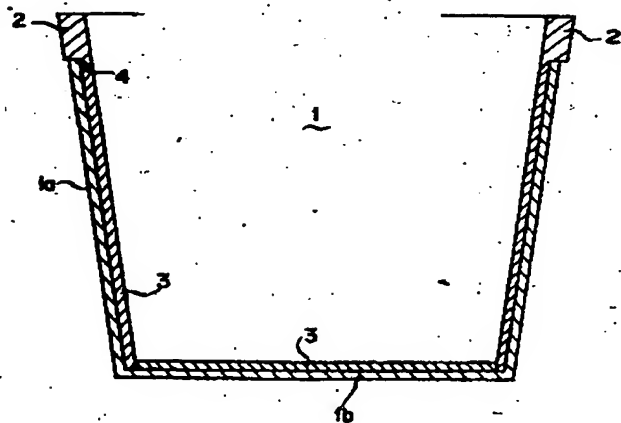
図面はこの考案の一実施例を示し、第1図は全体的な平面図、第2図は第1図Ⅱ—Ⅱ線に沿う断面図、第3図は第1図Ⅲ—Ⅲ線に沿う断面図、第4図及び第5図a、bは段部の他の実施例を示す説明図、第6図は非粘着性樹脂板の他の固定手段を示す説明図である。

1はバケツト本体、1aは側板、1bは底板、2は枠体、3は非粘着性樹脂板、4は段部。

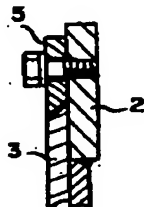
第1図



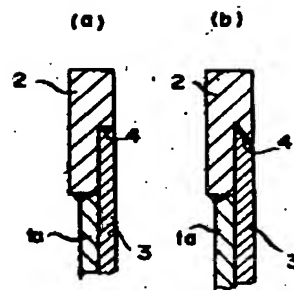
第2図



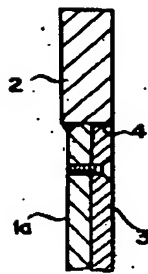
第3図



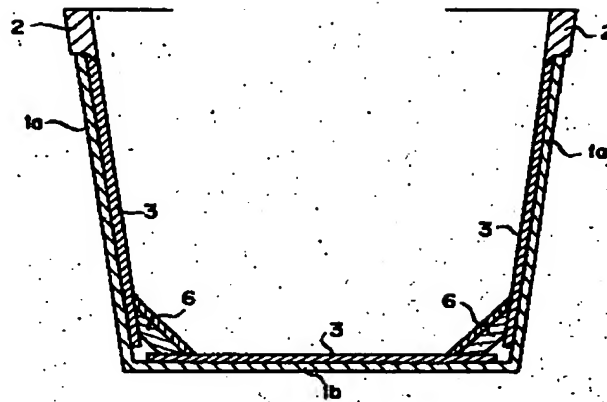
第5図



第4図



第6図





(4,000)

実用新案登録願

(2)

発記号ナシ

適

昭和 54 年 10 月 4 日

特許庁長官 川 原 能 雄 殿

1. 考 案 の 名 称

バケツト装置

2. 考 案 者

住 所 神奈川県平塚市高村 208  
氏 名 瀬 井 将 公

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都港区赤坂二丁目3番6号  
名 称 (123) 株式会社 小 松 製 作 所  
代 表 者 河 合 良 一

4. 代 理 人

住 所 105  
氏 名 東京都港区虎ノ門一丁目5番16号 晩翠ビル  
(7146) 米 原 正 章 (ほか1名)  
電話東京(03)504-1075~7番

5. 添付書類の目録

✓ (1) 明 細	書 面	1 通
✓ (2) 図	面 状	1 通
✓ (3) 委 任	本	1 通
✓ (4) 願 書 副	本	1 通



54 136793

方 式 査 審



55061

6. 前記以外の代理人

(1) 代理人

住 所 郵便105  
東京都港区虎ノ門一丁目5番16号  
晩翠ビル  
電話東京(03)504-1075~7番  
氏 名 (7381) 浜 本 忠

55061

## 明 細 書

### 1. 考案の名称      バケツト装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

両側板 1 a と、該両側板 1 a の円弧部に沿つて固着した底板 1 b 及びこれら側板 1 a 及び底板 1 b の開口部に沿つて固着した厚肉の枠体 2 によりバケツト本体 1 を形成し、かつ上記枠体 2 の内側に段部 4 を形成すると共に、これら段部 4 に上記バケツト本体 1 の両側板 1 a 及び底板 1 b の内面に沿つて設けた非粘着性樹脂板 8 の縁部を突き合せて、枠体 2 の内面と非粘着性樹脂板 8 の内面をほぼ同一平面としてなるバケツト装置。

### 3. 考案の詳細な説明

この考案はバケツト本体の内面に非粘着性樹脂板を内張りして、土砂が付着するのを防止したバケツト装置に関する。

一般に建設機械の作業機などに装着して土砂の掘削を行うバケツト装置にあつては、掘削した土砂が粘性の高い場合、バケツト本体の内面

に付着して容積効率が低下する。このため従来ではバケット本体の内面に非粘着性樹脂板などを内張りして土砂が付着するのを防止しているが、内張した非粘着性樹脂板の縁部に岩石などが当り、樹脂板が剥離しやすい。そこでバケット本体の開口部内側に非粘着性樹脂板と同厚の帯板を固着して、この帯板と非粘着性樹脂板の表面を同一平面とすることにより、縁部より剥離するのを防止したものも提唱されているが、この方法では別に帯板を設けなければならず、製作に手間がかかると共に、バケット開口部の肉厚が厚くなると掘削抵抗が大きくなるため、余り帯板を厚肉にできず、強度も弱い欠点があった。

この考案はかかる欠点を除去する目的でなされたもので、バケット本体の開口部を形成する厚肉な枠体の一部に段部を形成し、この段部に非粘着性樹脂板の端部を当接させて、枠体の内面と非粘着性樹脂板の内面が同一平面となるようにしたバケット装置を提供して余分な帯板な

どを設けずに非粘着性樹脂板の縁部からの剥離を防止したものである。

以下この考案を図示の一実施例について詳述する。図において1はバケット本体で、ほぼ半円状の両側板1aと、これら両側板1aの円弧に沿って固着された底板1bとよりなり、開口部には上記両側板1a及び底板1bより厚肉な鉄板により枠状に形成された枠体2が設けられている。この枠体2の内面は両側板1a及び底板1bの内面より内側となるように各側板1a及び底板1bの端縁に溶接されていて、枠体2の下縁全周に、後記する非粘着性樹脂板8の肉厚にほぼ等しい高さの段部4が斜めに形成されている。なおこの段部4は第4図に示すように段部4を側板1aに対して直角に形成してもよく、また第5図(a)または(b)に示すように枠体2の一部を切除して形成してもよいものである。

一方上記非粘着性樹脂板8は全体が四フツ化エチレン樹脂や超高分子ポリエチレン樹脂などの非粘着性樹脂よりなり、バケット本体1の両

側板 1 a 及び底板 1 b の内面に沿つて設けられており、枠体 2 側の端部は上記段部 4 に当接されて、枠体 2 の内面と非粘着性樹脂板 8 の内面がほぼ同一平面となつている。また側板 1 a 及び底板 1 b に沿つて設けた非粘着性樹脂板 8 の他側縁は第 2 図に示すように両側板 1 a に沿つた非粘着性樹脂板 8 の内側に底板 1 b に沿つた非粘着性樹脂板 8 が位置するように突き合されていると共に、底板 1 b に沿つた非粘着性樹脂板 8 の後縁は押え板 5 により枠体 2 の内係に係止されている。なお底板 1 b の後縁側は掘削抵抗に影響ないので押え板 5 で係止しても問題ない。また段部 4 が第 4 図及び第 5 図(a)に示すように直角の場合は非粘着性樹脂板 8 が内側へ倒れないようビス止めする必要がある。さらに各非粘着性樹脂板 8 の突き合せ部は断面が 8 角形状の固定部材 6 により第 6 図に示すように固定するようにしてもよい。

この考案は以上詳述したように、バケット本体 1 の開口部に設けられた厚肉な枠体 2 の一部



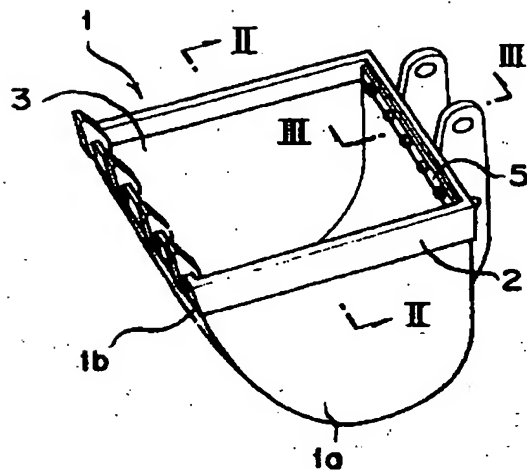
に段部 4 を設けて、バケツト本体 1 の両側板 1a 及び底板 1b の内面に沿つて内張りした非粘着性樹脂板 8 の端部を突き合せて、枠体 2 の内面と非粘着性樹脂板 8 の内面をほぼ同一平面としたことから、非粘着性樹脂板 8 の縁部が露出して使用中に剝離するなどの虞れがない。また帯板などを取付ける必要がないため製作が容易で安価に提供できると共に、開口部が厚くなつて掘削抵抗が増大したり、掘削抵抗により帯板が破損するなどの心配も全くない。

#### 4. 図面の簡単な説明

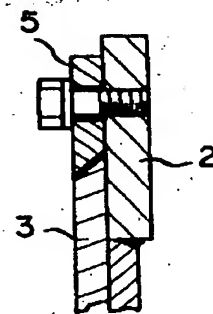
図面はこの考案の一実施例を示し、第 1 図は全体的な平面図、第 2 図は第 1 図Ⅰ-Ⅰ線に沿う断面図、第 3 図は第 1 図Ⅱ-Ⅱ線に沿う断面図、第 4 図及び第 5 図(a)(b)は段部の他の実施例を示す説明図、第 6 図は非粘着性樹脂板の他の固定手段を示す説明図である。

1 はバケツト本体、1a は側板、1b は底板、2 は枠体、8 は非粘着性樹脂板、4 は段部。

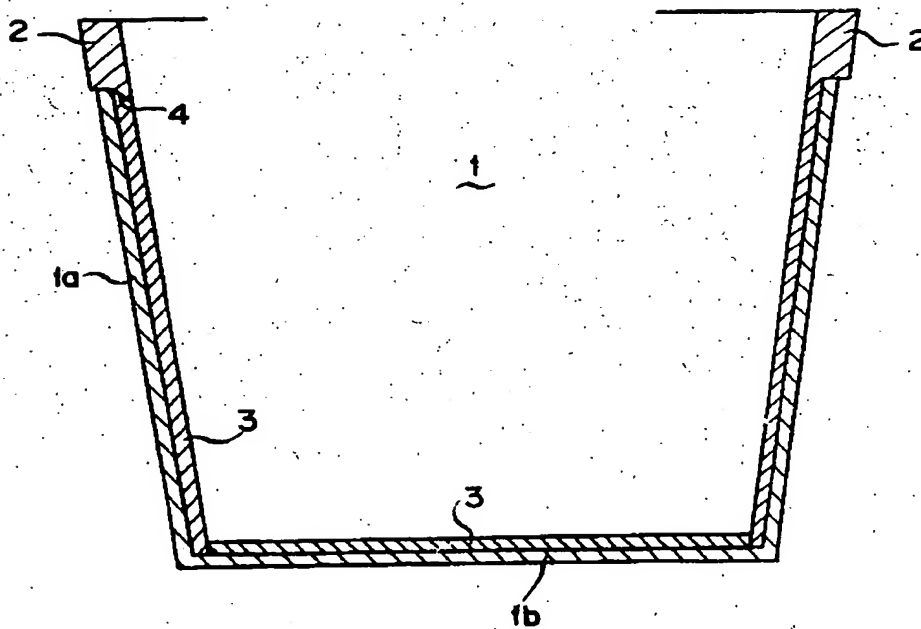
第 1 図



第 3 図



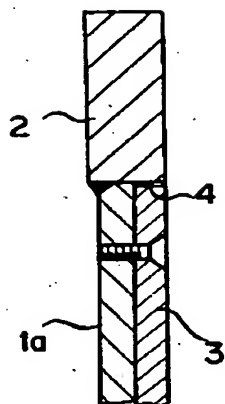
第 2 図



55061 1/2

出願人	株式会社 小松製作所
代理人	弁理士 米原正章 外1名

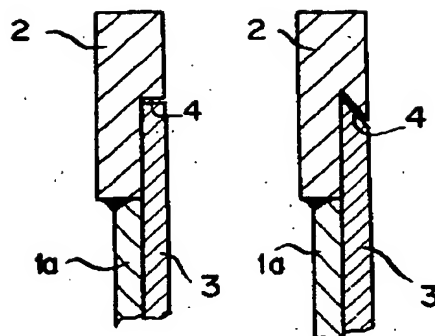
第 4 図



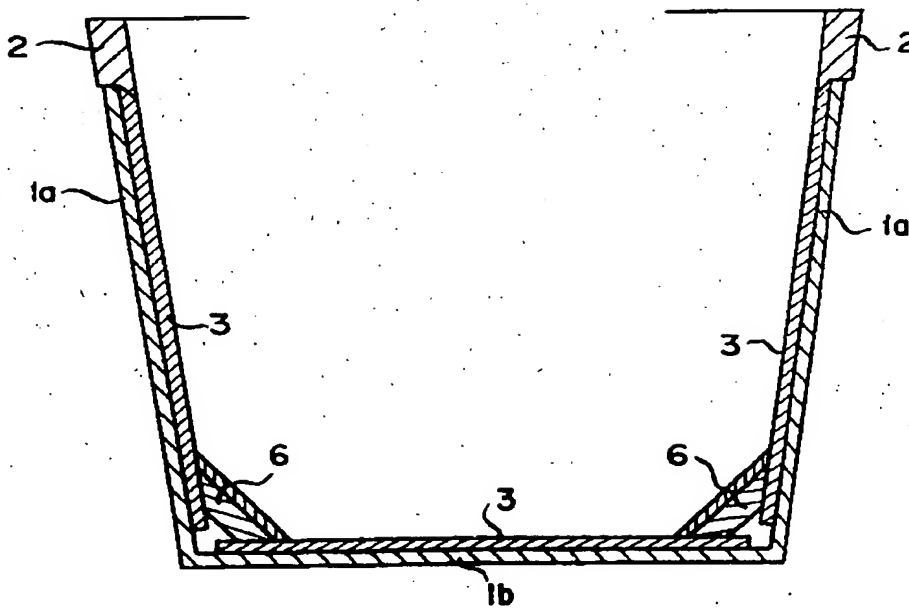
第 5 図

(a)

(b)



第 6 図



55001<sup>2</sup>/<sub>2</sub>

出 願 人	株式会社 小 松 製 作 所
代 理 人	弁理士 米 原 正 章 外 1 名

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**